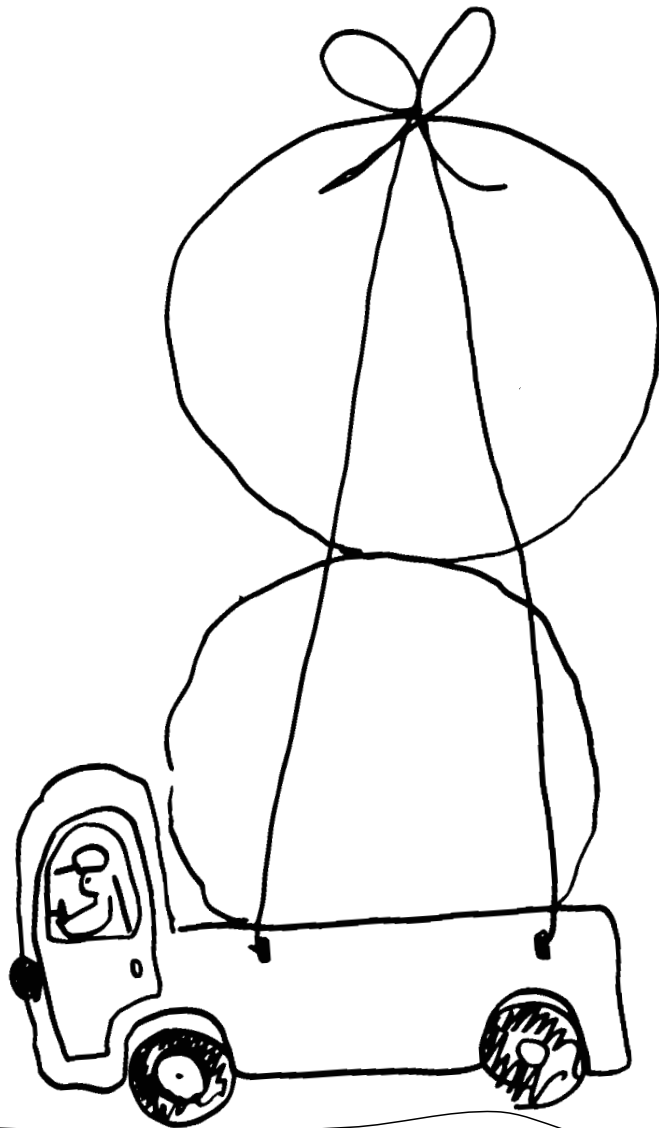
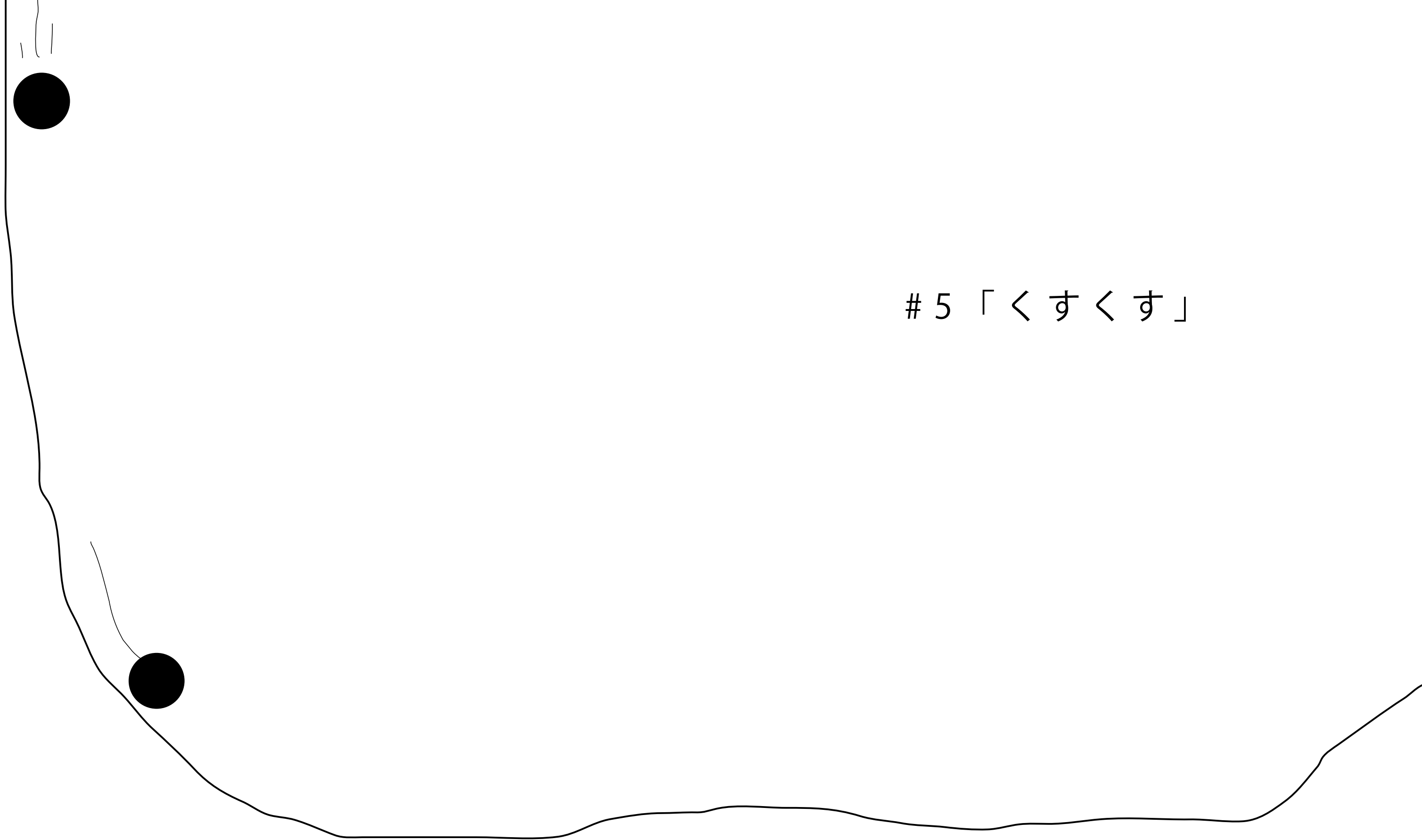


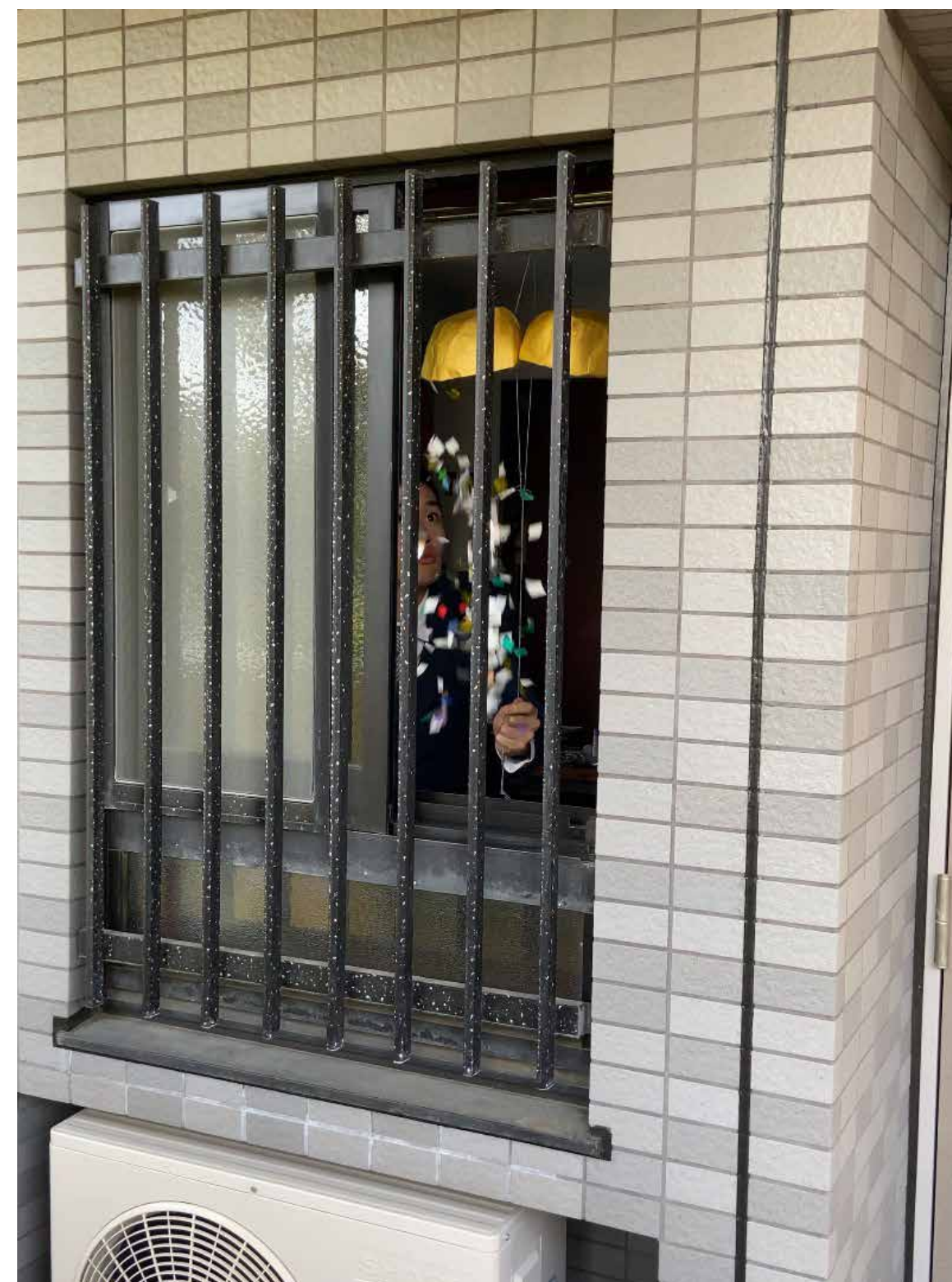
週刊

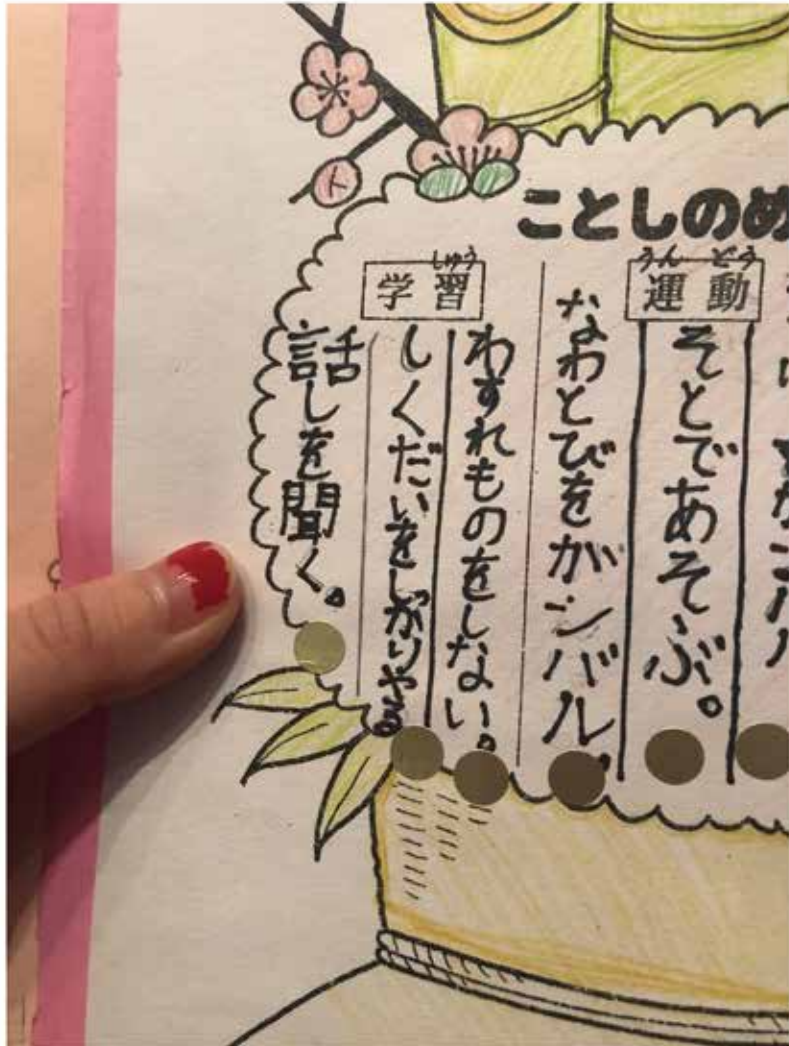
たまたま、





#5 「くすくす」





ことしのめあて 学習 小学一年生

・話を聞く

・しゅくだいをしつかりやる。

・わすれものをしない。

今年の目当て 学習 大学三年生

・話を聞く

・課題をしつかりやる

・忘れ物をしない

私の友達はみんな楽しい人ばかりで、楽しくなって笑うけど私の笑い方ってパー子に似ている。しかし本当はくすくす、しとやかに笑いたい。私は楽しくなると大口を開けて笑う。ンギャー！ギャハハ！！ンキヤーー！！ア～ッハ！！ってちょっとうるさいです。こっそりかわいく笑いたいです。楽しくさせてくれる友達の人たちいつもありがとう。

アケミのともだちのひと

20200517にちょう



←アケミ







はりきって、家族分のチャーハンを作ったら、失敗した。
まずかった。べたべたしてて、家で作るチャーハン特有の、おむすびが作れ
ちゃうやつ。それよりも、まずいやつ。

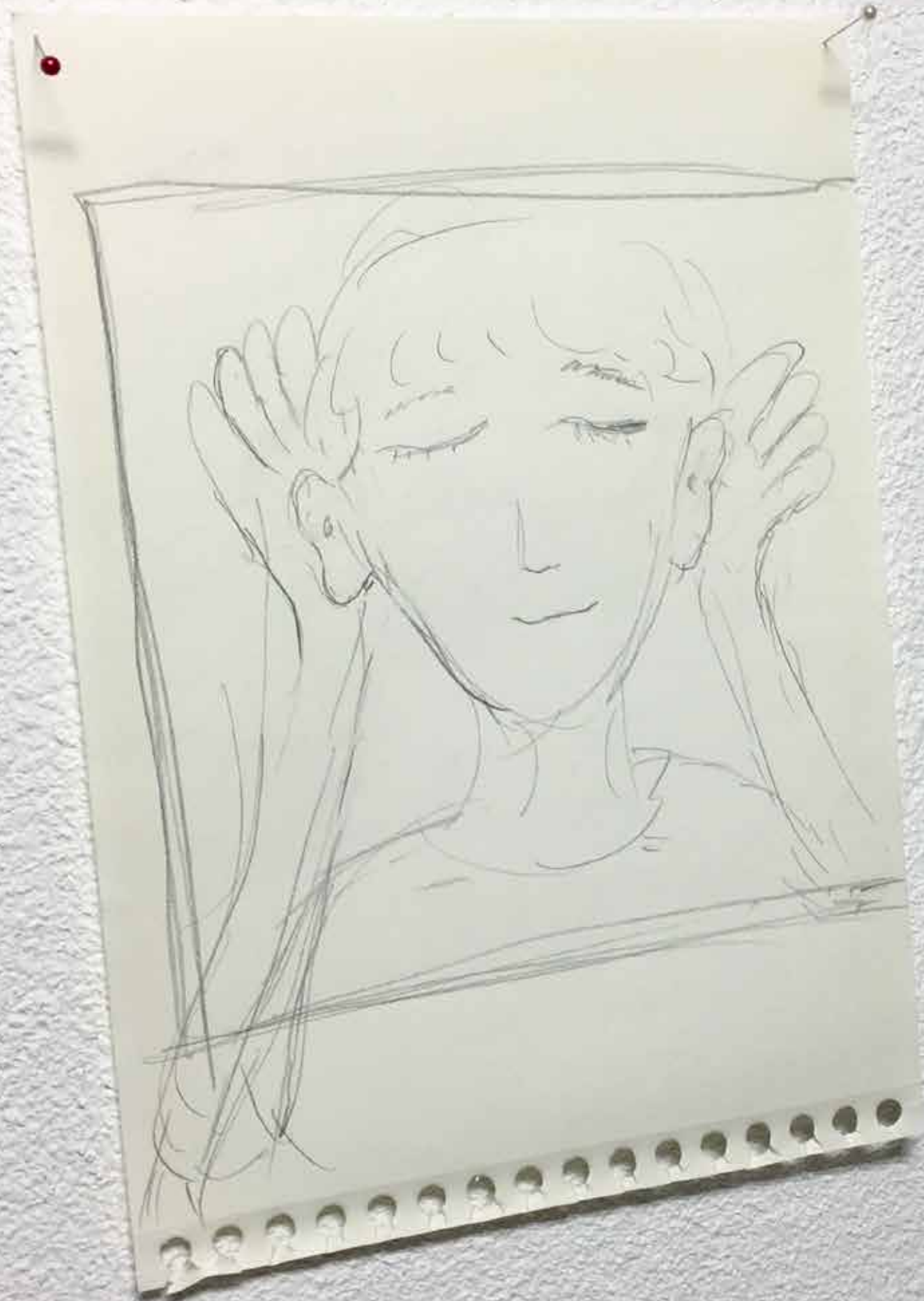
みんな、ふふって、わらっちゃったのに、お父さんだけ、うまいなあ、っていった。

小学1年生の時、学校に行かなかったわたしと、おとうさんは、一緒にお昼の
時間の学校に行って、クラスで給食を食べたことがある。みんな班で机をあわせ
て、そこに交じって、ちいさな椅子にちいさく座ったおとうさんと、給食を食べた。
銀色の食器、あげぱん、肉団子と春雨のスープ、みかん。窓から校庭が見えて、
おとうさんは、班のみんなに、にこにこしてた。

そのときの、にこにこと、今回の、うまい、は似ているのかも。

わたしとおとうさんの関係は、こんなかんじ。

わたしのおとうさんは、いつも、わたしのうつわにたっぷりと、よそいます。



だれもしらない。

北に歩いて 30 分。すると鳥居が 3 つある神社がある。その神社の近くで、川の向かいからきたばあさんに会った。神社に向かって右側のツツジがきれいで、見に来たらしい。あの現実味のない鮮やかな赤のツツジをだ。

何の変哲もない気持ちいい挨拶をするもんだから、天国で人にあったらこんな感じなのかとさえ思ったよ。僕はそこの藤の花が好きなんだ。その綺麗さを知っているのは、たぶん僕だけ。そう思っていると、本当にそう思えてくることもあるのは、僕だけじゃないと思う。

神社の下の見晴台でタバコを吸った後、帰ったんだけど、その途中で、じいさんが家の前で椅子に座ってた。まあこのへんで人なんかにはあんまあわないし、近所だからあいさつしたんだけど。そのじいさんカメラもってたから、なんかとるんすかって聞いたんだ。そしたら、おもむろに柱の上に指さした。振り向くとあのトンビのトンちゃんだったんだ。相変わらず、凜として、静かに街を俯瞰していた。油あげ道に投げておいて、エサをやっているという、

なんで油あげ？って言ったら、『トンビにあげもん盗まれた』っていうだろ？って言われたけど、くそピンとこなかった。

そのじいさんの話を聞いているとどうやら僕のひいじいちゃんと友達で、赤城山にしかないちょうちょの守り人らしい。まあひいじいちゃんは生きているうちには会えなかったんだけどさ。タバコ吸いすぎて肺がんで死んだんだってさ、そのじいさん医者もやってたから細かくそのこと知ってたんだ。

そういえばこのじいちゃんどんど焼きにいた人かもしれないと思った。近所の老人と小学生がやる地域行事だ。一月の霜で土の中が支えられた時期にだるまとか松、神棚に置いてたものを山にしてやくんだ。高さは二階くらいになった。まだ小さい頃に見たから、体感それくらいだったんだ。それが何のことなのかわからず、そのもやした残り火でマシュマロ食うことに夢中になってるみんなをみて、食わないわけにはいかないようなかんじだったから（子どもの中ではそっちがメイン？）、僕も食べたんだけど、砂糖の入りすぎた雲のような味はどうしても僕は好きになれなかったし、食べているという感覚すらしなかった。口に入れてのどを通したら、もうその物体はブラックホールにはいったみたいになんてイ空間に飛んでしまうんだ。そんな食べ物をうんめえうんめえ食っている友人を見て、不思議に思ったのを思い出した。

暗くなってきたし、そろそろ帰るよ、ってあげもんおじさんにいうと缶コーヒー 2 つもらった。トンちゃんはまだ油あげを盗んでいなかった。



スダタカヤ

ありがたい数だけお米食べますって思った。だけど、どれだけたくさんありがたいと思っても 1 食分ぐらいで消費しちゃうなって思った。友達と電話をしててトイレに行きたくなり、「音聞かれないからミュートにするわ～」と伝えたら「前聞かせてきただろ」と言われてびっくりした。ふざけたエッセイを書いて 2 人で印象操作しないように音読した。印象操作しちゃうなって思った。

歯磨いたあとの方がなんか食べたいって思った。

「大きい声出すな、クライマックスかよ！」って漫才のツッコミ、口に出して言いたくなった。けど、こんなにモート生活で大きい声だっと思うこと少なかった。こっちの端末の音量調整でどうにかなる問題だった。

「ということはウチら生産性のあることしか喋ってないってこと？」と聞かれてそれは嘘だと返した。

「ヘブンだヘブン、今、ヘブンだ」って独り言を言っているのが聞こえた。こっちの家にも届いてるけど、1 人の空間だから独り言になっちゃうのかなって思った。音読したら印象操作してるって言われた。独り言じゃなかった。なおさら嘘だろって思った。

「今日、お米の日だよ」って嘘のラインを送った。そしたらすぐに電話で「お米の日今日じゃないよ」って言われた。ちゃんと調べてたみたいだった。友達が誕生日プレゼントで「身体につけられるポケットを作ろうと思うの」と言われた。ありがたいって思った。笑った。

トークテーマのない電話、朝 4 時半、友達にだけ心配してる人からラインが届いたけどわたしには届かなかった。なんだよって思った。

やりたいことはたくさんあるけど、ほしいものはたくさんあるけど、カートに入れるだけで満足しちゃうようになった。

けど、電話越しにお腹空いてきちゃった～って声が聞こえてありがたいって思った。

ありがたい数だけお米食べますって思った。

クイズ！

くすくす or らいす



ダウNTOWN DX をみてた。その時ふとおもった。はまちゃんってなんでカネを鳴らすのだろうか？

それはビジュアル的にみたときにハンマーを持っているという圧倒的に殴る側、ツッコミということを提示しているのかと思ったけれど、じゃああのハンバーでまっちゃんを血みどろになるまで殴ればいいし、けどそんな使い方ははまちゃんはしないな。ちゃんと優しく手でツッコんでた。

ダウNTOWN DX をもう一度みた。ダウNTOWN DX というより、はまちゃんの鳴らされるカネをみていた。「かんかんかんかん」ってなるカネをみて、ひとつの仮の正解を思いついた。

あれは、もしかすると莫大な収録時間の中で、編集を行う裏方側へのはまちゃんの配慮なのではないだろうか。はまちゃんが面白いと思えば、突っ込めば、カネがなり音声データの波形は激しく揺れる。はまちゃんが思うハイライトは音声データをざっとみてもすぐにわかるだろう。

そうか、はまちゃん、はまちゃんは番組を構成しながら、編集者への配慮も忘れないのか。

まっちゃんもそれに答えるように面白いことをいう、するとはまちゃんのカネはたくさんなる。はまちゃんは表に出る人間側でありながら、編集のようなことその場で行なっている。そうかそういう意味だったんだね。

がんばれ、はまちゃん♪

くすくすお笑い師
kusukusu or rice



マンボウ豆腐

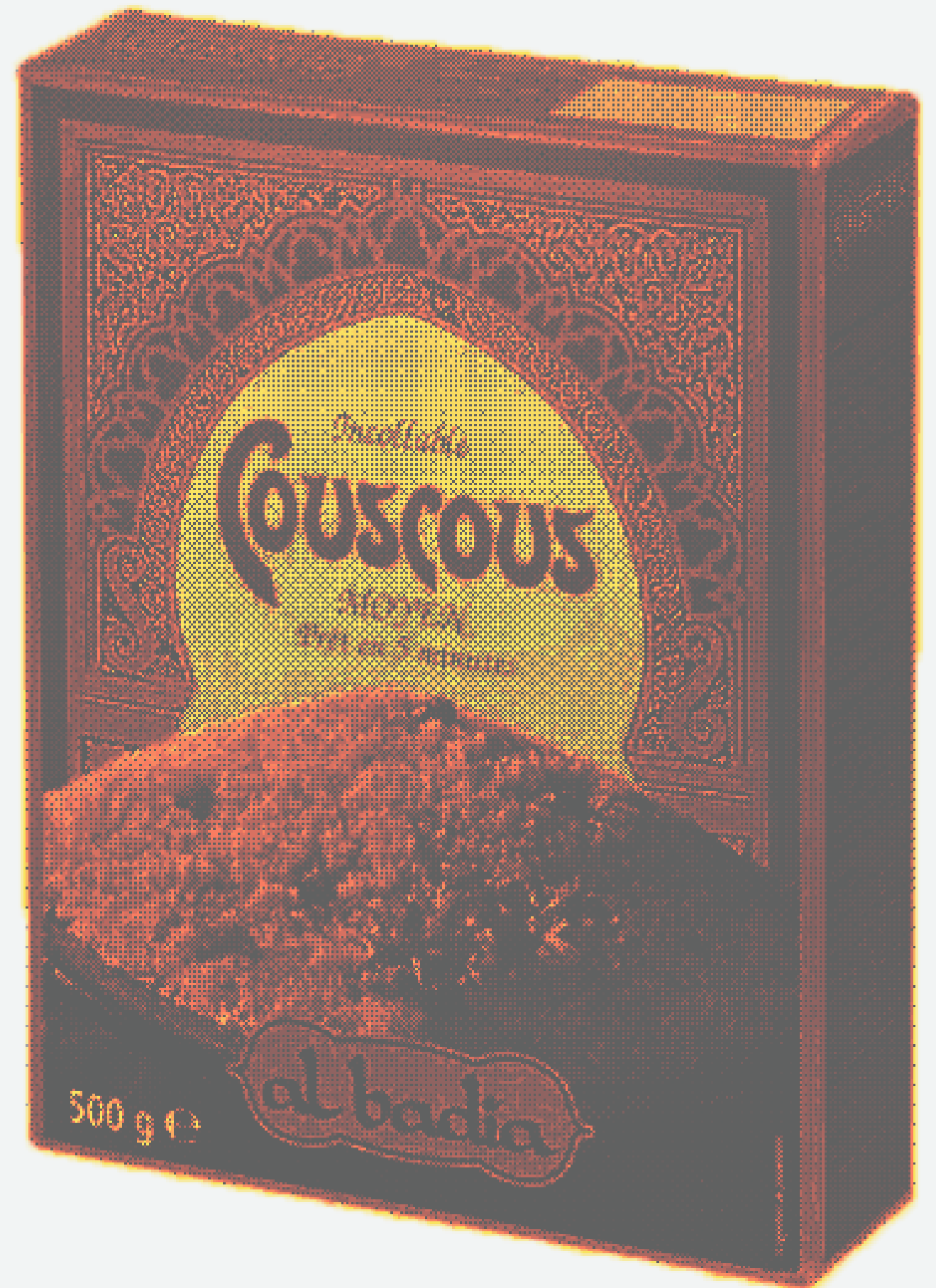
クスクスならあるけど食べると遊びに行、た先の家主に聞かされたら、少しひるませませんか。

たぶんもとは中東料理の主食で、今はフランスなどでもポピュラーな食材のようです。小麦でできていて、小粒でポロポロで、分類するとパスタ、それも世界最小のパスタと言われています。日本で食べる機会はそんなになんというけど、輸入食材のお店では普通に売られているのでよく食べてます。風にしよ、と普段の食事に取り入れれば少し気取れるし、古くだけでも中東に飛んでいると思うと、マニアックでウキウキしてしまいます。というわけで、乗客にクスクスをすすめたのは私の話です。その時はクスクスと、上にかける野菜の煮込みくらいしかすぐに出せるものがないか、たんだろうけれど。なぜそれが作り置きされていたかを考えると、うま、と恥ずかしいです。別に、味がいいがすごく好き、ておけではなかつたように思います。何度か買、ては消費したけれど、日常使いするほど馴染まなくて、今日は数年ぶりにその存在を思い出しました。

クスクスの良いところは、簡単に早く用意できることです。乾燥状態を袋から適量出して、沸いたお湯を注いで10分ほど煮らせばもう食べられる。箱に湯量の表示がされているので、余、たお湯をさる必要もなし。ご飯とパスタの間のような使い方ができるから、私はこれに野菜のトマト煮込みをかけて食べていた。玉ねぎ、ニンニクと好きな野菜、肉もトマトで煮込むだけ。なお、インゲンを入れると中東気分があがるのでおすすめしたい。隠し味にカレーパウダーを入れるのもありかもしれない。オクラとか入れちゃう？ 夕方に食べたくなくて来た！さすがに近くのスーパーには売、ていないので、売られているようなお店まで行きました、が、思、たよりも早くに閉ま、っている。あ……また今度。すごく残念というわけではないのだけど、存在感のうすい、あの粒々をまたいつか食べたくなることでしょう。

たなか　いくえ

笑える話をしたいよね 一緒にいると時間のことを考えてしまうのだけれど
そんなことより陰口はよろしくないね
「サラダとカレーが合うらしいよ クスクス」



タ イ ト ル	週刊 たまたま、# 5「くすくす」
参 加 者	川上元哉、桑原咲羽、伊東あけみ、長谷川了亮、新井さくら、下山健太郎、スダタカヤ マンボウ豆腐、たなかいくえ、池上美悠
発 行 日	2020/5/18
発 行 行	東京造形大学 CS-lab 〒 192-0992 東京都八王子市宇津貫町 1 5 5 6
編 集	下山健太郎

